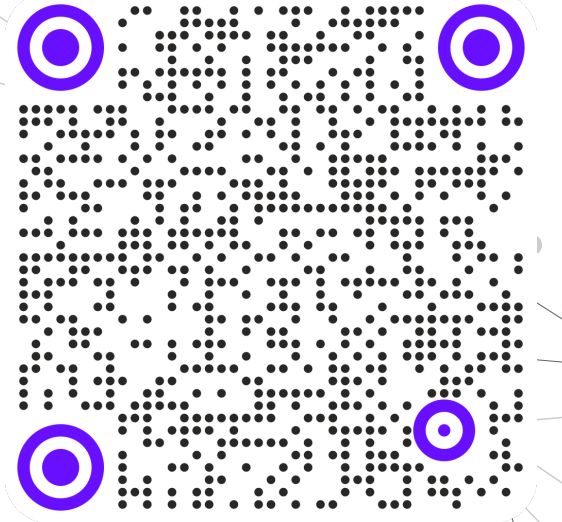


国際シンポジウム：2022.12.10～11

国境地域が 映し出す 国際危機

申し込み



シンポジウムの概要

国際危機の時代に入った国境地域（サハリン、北海道、北方四島など）における移住、地域交流、アイデンティティ、領土問題の取り扱いについての研究及び実践者の経験を共有します。また、ロシア語教育を通して危機の時代における教育やアイデンティティの変化を映し出します。

2022.12.10. 学術交流会館・小講堂

10:30～17:30

基調講演 危機のなかの境界地域(ボーダーランズ) 岩下明裕 北海道大学

危機の時代における地域研究 (14:00～17:30)

サハリン韓人の歴史記憶を継承するための提言 李俊榮 北海道大学

映画『ジョバンニの島』への物語論的アプローチ 高橋誠 北海道大学大学院

北海道の日口友好都市から見た日露交流活動 ブンティロフ・ゲオルギー 北海道大学

国際移住先の新地域としての中央アジア アコマトベコ・グリザット 北海道大学

コメント&ディスカッション 中山大将 釧路公立大学、リチャードソン・ポール バーミンガム大学

2022.12.11. 学術交流会館・講堂

9:00～17:30

危機の時代における地域活動 (9:00～11:00)

日露国境の変更と人の移動 パイチャゼ・スヴェトラナ 北海道大学

樺太残留日本人にとっての親族と故郷の今 斎藤弘美 日本サハリン協会

サハリン同胞問題の現状と課題 崔相九 Korean International Network

樺太アイヌ過去・現在・未来 田澤守 エンチウ(樺太アイヌ)協会

2022年の危機の影響によるオホーツク地域における日露国際関係及びビジネス関係 井戸イリーナ 北見日露親善協会

危機の時代におけるロシア語教育・言語・アイデンティティ (13:00～17:30)

日本のロシア語教育と多言語・多文化性：現状と今後の展望 横井幸子 大阪大学

危機の時代における日本のロシア語学校・教室の変化～教師らから見える課題と可能性 サヴィヌィフ・アンナ 北海道大学大学院

韓国におけるロシア語の文化・教育プロジェクト～現代の挑戦とその解決方法 テン・ジャンナ 韓国高麗人協会教育・文化・スポーツ委員会

富山市のロシア語話者の青少年の民族的・言語的アイデンティティ 武田エレナ 富山高等専門学校

基調講演 危機の時代における、大人を対象とする外国語としてのロシア語及び子どもを対象とする継承語ロシア語の

教育の傾向と展望 アムリンスカヤ・ユーリヤ 「Russifiacte」外国語としてのロシア語オンライン学校、「Kaleidoscope」継承語ロシア語学校

ディスカッション パイチャゼ・スヴェトラナ 北海道大学